



2024年8月14日

各位

会社名 株式会社スカラ
代表者名 取締役 代表執行役社長 新田 英明
(コード番号 4845 東証プライム)
問合せ先 経理部長 上代 大輔
(TEL 03-6418-3960)

2024年6月期通期連結業績予想と実績との差異及び減損損失の計上 並びに個別決算における特別損失の計上に関するお知らせ

2024年4月25日に公表しました2024年6月期(2023年7月1日~2024年6月30日)の通期連結業績予想と本日公表した実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、減損損失および個別決算における特別損失を計上しましたので、併せて、お知らせいたします。

記

1. 2024年6月期連結業績予想と実績の差異(2023年7月1日~2024年6月30日)

| | 売上収益 | 営業利益 | 税引前利益 | 当期利益 | 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 基本的1株当たり当期利益 |
|--------------------------|--------------|---------------|---------------|---------------|------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 8,300 | 百万円 △1,100 | 百万円 △1,100 | 百万円 △2,700 | 百万円 △2,700 | 円 銭 △155.73 |
| 実績(B) | 10,714 | △2,155 | △2,166 | △2,877 | △2,887 | △166.53 |
| 増減額(B-A) | 2,414 | △1,055 | △1,066 | △177 | △187 | |
| 増減率(%) | 29.1% | - | - | - | - | |
| (ご参考) 前期実績 (2023年6月期) | 11,838 | 397 | 374 | △213 | △218 | △12.62 |

(注) 前期実績につきましては、非継続事業が生じたことにより、売上収益、営業利益及び税引前利益を、非継続事業を除いた継続事業の金額に組み替えて記載しております。

2. 差異の理由

当社は、前回2024年4月25日に発表した2024年6月期の連結業績予想において、当時時点で入手可能な情報や予測を踏まえ、通期連結業績予想を算定しておりましたが、事業構造改革に伴う事業整理において、一部事業の非継続事業化が翌期にずれ込むことになったこと等により、売上収益につきましては、2,414百万円の増加が生じております。

また、利益につきましては、当連結事業年度の実績を踏まえて、各社の将来事業計画を保守的に再評価した結果、のれん及び無形資産等の減損損失の追加計上等により、前回発表から下回る結果となりました。

3. のれんの減損損失及び無形資産の減損損失の内容

株式会社エッグにおいては、全国の自治体と強固な取引関係を有するソフトウェア開発会社であり、地域からの信頼を得ながら長年の政府自治体との取り組み実績を多数有しております。堅調な利益を継続して計上しているものの、Goto キャンペーンや全国旅行支援が終焉したことに伴い、当初見込んでいた収益力を見直した結果、のれん 150 百万円、無形資産等 492 百万円の減損損失を計上いたしました。

また、日本ペット少額短期保険株式会社においては、ペット保険「いぬとねこの保険」の運営を通して、社会貢献に繋がる事業を創業時より展開しております。当連結事業年度においては、マーケティング施策を強化した費用が先行しており、新たなサービスが軌道に乗るまでの間、将来事業計画を保守的に再評価した結果、のれん 355 百万円、無形資産 257 百万円の減損損失を計上いたしました。

なお IFRS の規定により、上記の減損損失は営業損失として計上されるため、営業利益以下の各段階損益に影響いたします。

4. 個別決算における特別損失の内容

主に、株式会社スカラサービス及び日本ペット少額短期保険株式会社の財政状態および経営成績を保守的に実質価額まで再評価した結果、関係会社株式評価損 1,005 百万円を個別財務諸表における特別損失として計上いたしました。また、繰延税金資産の回収可能性を再評価した結果、440 百万円取崩し計上いたしました。

なお、上記の関係会社株式評価損は、連結決算においては相殺消去されるため、2024 年 6 月期（2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日）の当社の連結業績に与える影響はございません。

以上